

The Japan Association of Radiological Technologists
ネットワーク・ノウ

Network Now

2023 No.567

3 / 1

JART情報
<https://www.jart.jp>

発行所 公益社団法人日本診療放射線技師会
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL. 03-4226-2211 FAX. 050-3153-1519



日本診療放射線技師学術大会 における演題登録について

本会学術大会における演題登録までの流れについて、倫理委員会では以下の演題区分とフローチャートを策定しました。

演題区分については、今回新たに、カテゴリー分類を「研究」と「報告」に分けています。

2021年に「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」が新たに制定され、その後、個人情報保護法の改正に伴い、2022年3月に倫理指針の一部改正が行われ、基本的に人を対象とする研究は、倫理審査委員会の承認を得て行う必要があることから、学術大会の演題募集においても、倫理審査委員会の承認番号などを明記していただくことになりました。「研究」のカテゴリーはこれを受けてのものであります。

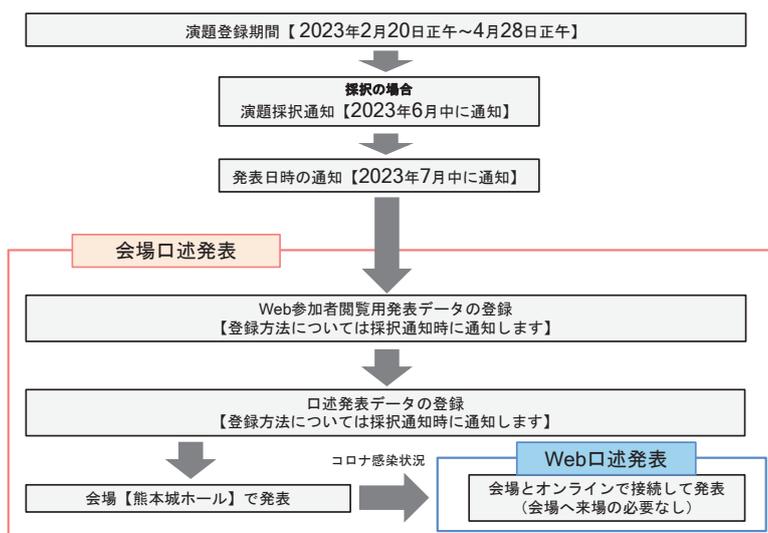
一方、症例報告や技術報告、日常の診療や業務改善、さまざまな提案などは、「報告」というカテゴリーで募集します。

また人を対象としないファントム実験などについては「研究」として、研究計画や結果の分析ができていない場合には「報告」として発表していただくこともご検討ください。

詳細は、本会会誌2月号から掲載されている演題募集要項をご覧ください。

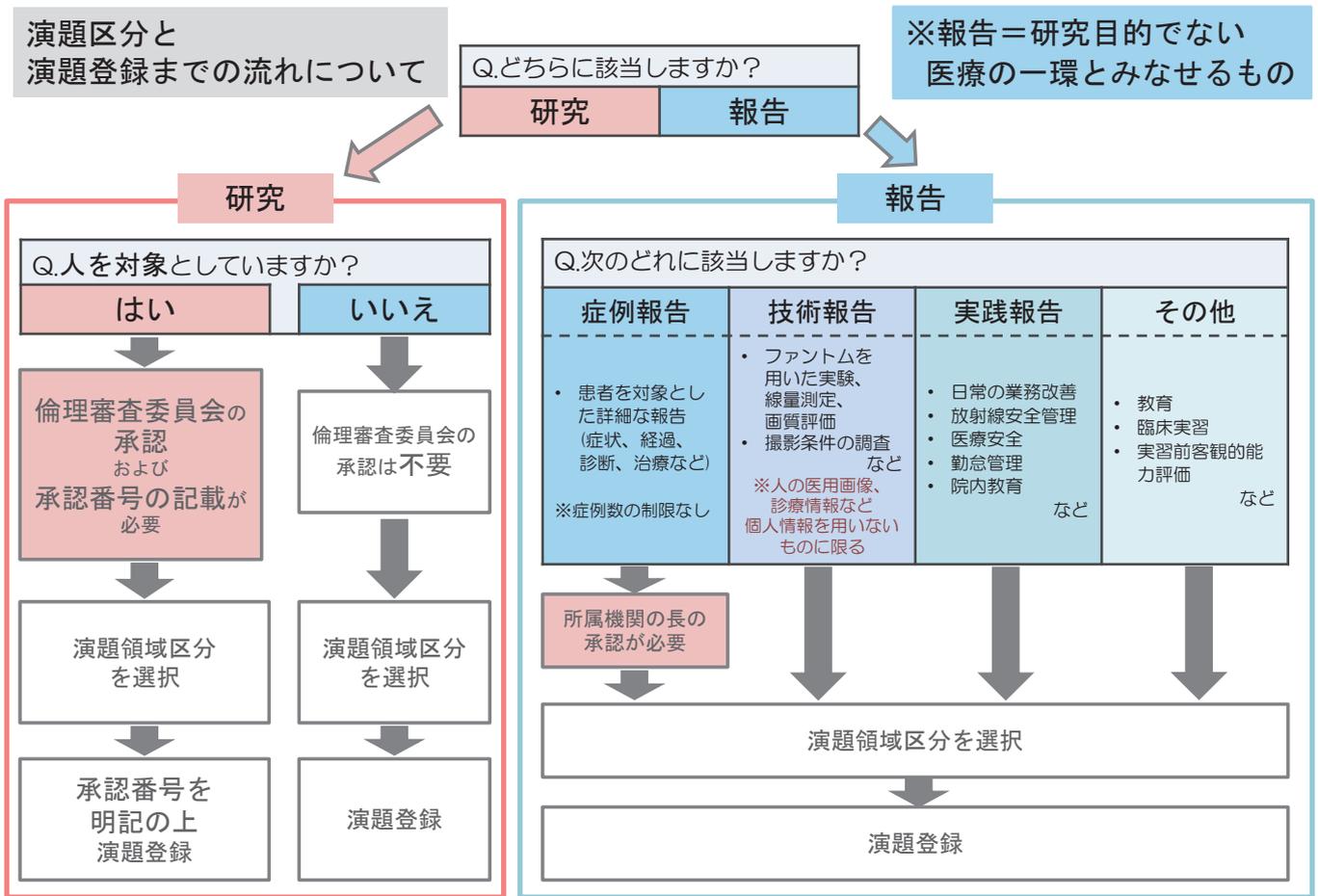
(倫理委員会)

演題応募から発表までの流れ



演題区分

研究	人を対象とした研究	倫理審査委員会の承認が 必要
	人を対象としない研究	倫理審査委員会の承認は 不要
報告	症例報告	個々の患者についての詳細な報告であり、症状、経過、診断、治療などの詳細についてまとめたもの (ただし症例数については定義しない) 施設のルールに従って所属機関の長の承認が必要
	技術報告	ファントムを用いた実験、線量測定、画質評価、撮影条件の横断調査など、データ取得過程も含め、人の個人情報、医用画像や診療情報を用いず、主に物理的な事実を検証し、その理解を広めることを目的としたもの
	実践報告	日常の業務改善、放射線の安全管理、医療安全、動急管理、院内教育などの詳細についてまとめたもの
	その他	教育、臨床実習、実習前客観的能力試験など、その他教育等についての詳細をまとめたもの



本会会長と環境省へ出向している診療放射線技師との対談が行われる

2023年1月10日(火)、環境省 大臣官房環境保健部 放射線健康管理担当参事官室へ出向しておられます、診療放射線技師の秋田隆司氏、永田基氏を本会事務所にお招きして、環境省へ医療施設から出向した感想を中心に、行政職の業務の様子、診療放射線技師としての貢献、行政職業務が今後どのように役立ちそうかなどについて、本会上田会長と対談を行いました。

われわれ診療放射線技師もさまざまな業務をしていますが、お二人の、国の行政職として活動されている様子について深く知ることができました。後進のモチベーションにつながると思います。

詳しい内容は、本会会誌の特集記事として掲載予定ですのでご期待ください。



上田克彦会長

秋田隆司氏

永田基氏



静岡県放射線技師会 公益社団法人化10周年記念式典 挙行される

2023年1月14日(土)午後3時より、ホテルグランヒルズ静岡で静岡県放射線技師会公益社団法人化10周年記念式典を挙致しました。式典は公益社団法人静岡県放射線技師会会長 高橋真の式辞に始まり、ご来賓の上川陽子衆議院議員、畦元将吾衆議院議員、深澤陽一衆議院議員秘書 遠藤敏郎さま、静岡県健康福祉部 八木敏裕部長、静岡県医師会 紀平幸一会長、静岡県病院協会 毛利博会長、静岡県看護協会 渡邊昌子会長、日本診療放射線技師会 富田博信副会長より心のこもったご祝辞を賜りました。功労者表彰では、法人化にご尽力いただいた2人(和田健会員、延澤修二会員)に表彰状の授与を行いました。静岡県放射線技師会副会長 牛場克明の閉会のあいさつをもって午後4時に閉会となりました。その後、畦元将吾衆議院議員より、今後の診療放射線技師に対する期待を込めた貴重な講演を賜りました。



生涯教育システムが変わりました!!

INFORMATION

新生涯教育システムの導入により、技師格(アドバンス・シニア・マスター)および、免許取得後の年数に応じて、各ラダーレベルへの自動移行を実施しています。

ただし、下記の方はマイページから、移行による自己申告が必要です。

自己申告期間を過ぎると自己申告による暫定移行はできませんので、ご注意ください。

● 役職のある方(マネジメントラダーのため)

→ マネジメントラダーにおけるレベル認定のため、役職の自己申告が必要(部長・技師長・副技師長・主任など)。

● 免許取得後15年以上で技師養成機関に在籍(常勤・非常勤)する博士号取得者

→ 自己申告により、クリニカルラダーレベル5に移行します。

● 2021年度に都道府県のフレッシュヤーズセミナーを受講された方

● 暫定移行措置スケジュール

暫定移行を実施するための自己申告期間

2022年5月9日(月)～2023年3月31日(金)

暫定移行実施期間

2022年5月9日(月)～2023年3月31日(金)

生涯教育システムの詳細はこちら→ https://www.jart.jp/activity/lifelong_study.html

JARTISから領収書の発行が可能になりました!

INFORMATION

会費、講習会、セミナー、学術大会の費用・参加費について、会員ご本人による領収書の発行が会員情報システム(JARTIS)から可能になりました。詳細は、会誌3月号P15・お知らせをご参照ください。

第2回 骨関節撮影分科会セミナー 開催される(Web開催)

2023年1月27日(金)、第2回骨関節撮影分科会セミナーがWeb開催されました。

今回のWebセミナーは、「股関節X線撮影法に関するアンケート調査報告」と「小児疾患とX線撮影の目的」という内容で、受講申込者は141人でした。

骨関節撮影分科会では、Webセミナーを気軽に受講して

いただきたく、短時間での開催、廉価に設定した受講料としています。また誰もがX線撮影に対して自信を持てるように、撮影された画像を理解できるようなプログラムを用意していきたいと考えます。

今回のセミナーでは、セミナー内でも多くの質問を頂きました。また終了後のアンケートでも「小児の疾患解説が分かりやすかった」「地域により撮影選択に違いがあることが分かってよかった」などの感想を頂きました。

今回、アンケートは報告のみでしたが、調査から見えてきた内容を掘り下げることや、経時的に撮影法の変化を追うなど、さまざまなかたちで皆さまに報告できればと思います。

Webセミナー開催で、全国どこにいても受講できる環境が整ったわけですから、小規模施設の方や研修に行きづらい環境の方も、ぜひ受講していただければと思います。同時に、今後もアンケート調査にご協力いただければ幸いです。

(骨関節撮影分科会 分科会長 中川 英之)



告示研修 開催報告

群馬県

一般社団法人群馬県診療放射線技師会 教育部長 米持 圭太

2023年1月21日(土)・22日(日)の2日間、群馬県立県民健康科学大学を会場として、本会としては本年度5回目・6回目となる告示研修(実技)を開催致しました。受講者数は、定員48人に対して、21日が44人、22日が46人となりました。群馬県外からの受講者も多く、約半数の受講者が近隣他県からご参加いただきました。

当日の運営においては、両日共に、受付から午前の動画視

聴、午後の実技研修まで、大きな問題もなくおおむねスケジュール通りに進行することができました。順調な進行にご協力いただきました講師の先生方をはじめ、ファシリテーター、会場スタッフ、受講者の皆さまに感謝致します。

群馬県診療放射線技師会では、今回の開催から新たにファシリテーターとなったスタッフも加え、手薄だったファシリテーターを増員致しました。今後も万全な体制で開催できるよう

に環境を整えていくとともに、年間の開催回数をできる限り確保し、より多くの診療放射線技師の方々に、本研修を修了していただけるよう検討していきたいと考えております。



高知県

公益社団法人高知県診療放射線技師会 副会長 中村 伸治

2023年1月22日(日)、高知医療センターで告示研修(実技)を行いました。高知県では3回目となります。新型コロナウイルス感染症の影響が心配されましたが、講師、ファシリテーター(FT)などには影響がなく、受講者で1人だけコロナ陽性で受講できませんでした。今回の受講者は29人で、4班に分かれて研修してもらいました。最初はごちなかつた受講者たちも、何度も実技を繰り返すうちにコツをつかんだようで、にこやかな笑顔がうかがえました。今回、高知県ではFTの他にFT資格を持つ高知県独自のスタッフを用意し、講師の補助や指導の補助を行いました。人数が多い分、研修の準備や片付けなど、比較的短時間で行えました。回数を重ねるごとに要領が良くなり、受講者にスムーズに研修を行ってもらえるようになったと実感しています。入っているはずの

カップが入っておらず、今回はバケツで代用しましたが、物品を返すときに入れ忘れがあると、次の開催県で大変なことになると身をもって体験し、くれぐれも間違いがないようにチェックをしっかりとしなければならないと思いました。これからFTのメンバーを入れ替えても、受講者が満足するような告示研修を行っていきたいと思います。



秋田県

公益社団法人秋田県診療放射線技師会 会長 豊嶋 英仁

秋田県診療放射線技師会では2023年1月28日(土)・29日(日)、令和4年度告示研修(実技)第3回・第4回を開催しました。会場は秋田駅から徒歩10分にある秋田県立循環器・脳脊髄センター 講堂・会議室。受講者数は、第3回が31人、第4回が18人でした。両日共に最高気温が氷点下になる降雪日。この時期は道路状況の悪化が予想され、受講者の伸び悩みに影響した可能性があります。医師講師は秋田大学医学部附属病院 放射線科、看護師講師は会場施設から派遣していただきました。

第3回・第4回を経験して、初回に比べてファシリテーターやスタッフの動きがス

ムーズになりました。しかし、受講者数の確定が開催2週間前のため、それに合わせたファシリテーターやスタッフを流動的に調整する対応に難しさを感じています。

今後の課題は、受講率のアップならびに受講者数に合わせた運用スタッフのスリム化が挙げられます。



診療放射線技師基礎技術講習 「消化管撮影」開催報告

一般社団法人千葉県診療放射線技師会 理事 小倉 直子

2023年1月8日(日)、千葉大学医学部附属病院で診療放射線技師基礎技術講習「消化管撮影」が開催されました。本講習は2020年度に開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染症の流行により延期となり、会場型開催が可能となったことでようやく開催することができました。

千葉県外の会員からの申し込みがあったことや、若手からベテランまで幅広い年代の会員にご参加いただいたことから、本講習への期待の高さがうかがえました。

上部・下部消化管撮影に関して、X線透視撮影装置の基礎知識、画質と性能評価、被ばく管理、受診者管理、造影剤などの薬剤の知識、そして撮影技術と読影など、これらの幅広い範囲を網羅する内容について、講師の方々から非常に分かりやすいご講演を頂きました。これから消化管撮影を始める技師のみならず、すでに消化管撮影を行っている技師にとっても、知識と技術のブラッシュアップにつながる講演でした。



講師の方々への消化管撮影への熱い思いを肌で感じ取れたのは、会場型開催ならではの醍醐味でした。

今後も、会員のニーズに応えられるかたちで講習会を開催していきたいと考えています。どうぞよろしくお願い致します。

診療放射線技師基礎技術講習 「MRI検査」開催報告

一般社団法人和歌山県放射線技師会 会長 川合 久之

2023年1月8日(日)、和歌山県JAビルで診療放射線技師基礎技術講習「MRI検査」を開催しました。この講習会は、近畿地域では3年前から当県で開催する予定になっていましたが、一昨年度・昨年度は、新型コロナウイルス感染防止対策により会場が確保できない状況が続き、開催を中止せざるを得ませんでした。本年度は規制も徐々に緩和され、開催することができました。

申し込み終了時は73人の申込者がありましたが、昨年末からの新型コロナウイルス感染第8波の影響からか、当日は42



人の受講となりました。本講習会は、MRI認定技師を目指す技師にとっても重要な講習会であり、県外からも多くの参加を頂き、受講者の熱意を感じた講習会となりました。新型コロナウイルス感染対策には十分配慮し、無事終えることができました。

最後に、講師の先生方には、何度も依頼をしながらも講習会の中止を繰り返し、大変ご迷惑をお掛けしたにもかかわらず、今回の講師を快く受けてくださったことに感謝致します。



レントゲン週間 イベント開催される



本会では、1895年11月8日のW. C. レントゲン博士によるX線発見を記念し、毎年11月2日～11月8日の一週間を『レントゲン週間』と制定しています。

この『レントゲン週間』にちなみ、放射線の専門家として正しい知識を国民に伝えるとともに、私たちの仕事を知っていただくためのイベントとして、本年度も各県（診療）放射線技師会の協力を得て、各地でさまざまなイベントが開催されました。

MIE

レントゲン祭

イベント運営担当者：武藤副会長、松浦教育委員、
中舎会員

参加者数：会員 5 人、一般 30 人

2022年11月13日（日）午前9時30分から午後2時まで、鈴鹿医療科学大学千代崎キャンパスB講義棟でレントゲン祭を開催致しました。当日は、鈴鹿医療科学大学の碧鈴祭（大学祭）の開催期間中でした。

レントゲン祭の内容を紹介します。松浦教育委員による式辞に始まり、武藤副会長がレントゲン博士のご功績を読み上げお祝いを致しました。次いで、武藤副会長より献花が行われ、最後に参加者全員でレントゲン博士の偉業に対する感謝を込めて黙とうをささげました。

その後は、大学祭への一般来場者に向けたイベントを行いました。内容はVirtual Reality (VR) を用いたレントゲン撮影の体験です。VRゴーグルを装着しながら模擬患者を操作し、撮影ポジショニングから撮影までをゲーム感覚で行っていただきました。ゲーム感覚で撮影ポジショニングを行うことができるので、「今まで以上に放射線について興味が湧いた」「実際の現場で撮影したくなった」などの意



見を頂きました。実際に撮影したような画像も閲覧でき、来場者の方々は非常に興味をお寄せでした。また当日は、イベントに興味を持っていただいた、鈴鹿医療科学大学放射線技術科学科の学生4人にもご協力いただきイベントを行いました。その学生さんたちにも準備の合間にVRを体験していただくと、「このイベントに楽しく参加できた」と非常に好評でした。コロナ禍のため、直前まで実施判断が難しい状況でしたが、参加者からは診療放射線技師の業務や撮影の手順などについて興味を持っていただける機会となりました。

最後に、JART 上田会長をはじめ役員の皆さま、諸先輩方をはじめとする県役員の皆さま、会員の皆さま、ご協力いただいた鈴鹿医療科学大学の学生の皆さまをはじめ全ての皆さまに改めて感謝申し上げ、企画報告とさせていただきます。

（一般社団法人三重県診療放射線技師会）



当日の様子

第5回 第39回日本診療放射線技師学術大会 (39th JCRT)
第30回東アジア学術交流大会 (30th EACRT)

熊本への道 Go To KUMAMOTO

実行委員 徳永 真彦

(一般社団法人熊本県放射線技師会 常務理事)

熊本県南西部、天草の観光

これまでの熊本への道 Go To KUMAMOTOでは、会場や会場周辺について紹介がありましたが、今回は熊本観光について一部紹介したいと思います。

熊本にはたくさんの観光地やおいしい食べ物があります。観光地では阿蘇山や熊本城、各地の温泉、食べ物では馬刺しや赤牛、辛子レンコンなど。紹介したいことはたくさんありますが、今回は私が趣味の釣りによく訪れる「天草」について紹介します。

熊本県の南西部に位置する天草は、上島（かみしま）や下島（しもしま）を中心に、大小120の島々から成る諸島で構成されています。九州本土とは**天草五橋**と呼ばれる5つの橋で結ばれており、エリアによりますが熊本市内からは車で1～2時間ほどで行くことができます。

天草に向かう道中の港や堤防は多くの釣り人で賑わっており、**海上釣り堀**や手ぶらで行くことができる釣り施設もあります。観光では、一年中楽しむことのできる**イルカウォッチング**や、日本最大級の肉食恐竜の化石が発見された**恐竜の島**などがあり、さまざまに楽しむことができます。また天草の**崎津集落**は、禁教下に仏教・神道・キリスト教と共存しながら信仰を続けた集落として評価され、「**長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産**」の構成資産として2018年に世界文化遺産に認定されました。少し遠いですが、時間に余裕のある方にはぜひ訪れていただきたいと思います。そして天草に向かう道中では、本大会ポスターに掲載されているワンピース銅像の一つである「**ジンベエ像**」が設置されています。天草に向かう際にはぜひ立ち寄ってみてください。

最後になりますが、天草の魅力として外すことができないのが**海の幸**です。天草では、季節ごとに多種多様な魚介類が捕れます。新鮮な魚介類はどれも絶品で、熊本市内の飲食店でも食べることができます。学会期間中にぜひご賞味ください。また熊本の県魚でもある「**車海老**（くるまえび）」は、天草が全国有数の生産地として知られており、本学会が行われる時期も食べることができます。身が引き締まり、濃厚なうま味とぷりぷりとした食感でとてもおいしいです。

今回の熊本への道では、天草の魅力を紹介させていただきました。充実した学会になるよう実行委員一丸となって準備を進めておりますので、ぜひ皆さまには現地参加していただき、それに合わせて熊本の観光やおいしい食べ物も楽しんでいただければと思っております。多くの皆さまにお会いできることを実行委員一同、楽しみにしております。



天草の飲食店で食べた海鮮丼



天草の飲食店で食べた刺身定食



第39回 39th Japan Conference of Radiological Technologists

日本診療放射線技師学術大会

会期 | 2023年9月29日[金]～10月1日[日]

会場 | 熊本城ホール
[ハイブリッド開催]
〒860-0805 熊本県熊本市中央区桜町3-40

会長 | 上田 克彦
[公益社団法人 日本診療放射線技師会 会長]

大会長 | 西小野 昭人
[一般社団法人 熊本県放射線技師会 会長]

主催 | 公益社団法人 日本診療放射線技師会

共催 | 一般社団法人 熊本県放射線技師会

後援 (予定) | 厚生労働省 / 日本放射線技術学会
熊本県 / 熊本市

～タスク・シフト/シェアに伴う業務拡大を推進しよう～

復興の地から はじまる

技術革新



©尾田栄一郎/集英社

熊本地震から復興に向かう熊本に対して尾田栄一郎氏から「必ず助けに行く」というメッセージをいただき「ONE PIECE 熊本復興プロジェクト」が立ち上がりました。復興が進む熊本で学術大会を開催するにあたり、地震からの復興を応援するために「ONE PIECE 麦わらの一味」の銅像を使用させていただきました。

大会事務局



一般社団法人熊本県放射線技師会

〒861-8528 熊本県熊本市東区長嶺南2-1-1 日本赤十字社熊本健康管理センター 放射線課内 TEL・FAX (096)386-1388

未知の素敵な世界への旅



子どもの頃は、好奇心で胸がいっぱいだったことを思い出します。子どもはあまりにも知らないことが多過ぎるからなのだろうか、無意識のうちに未知の世界への旅に出掛け、たくさんのことを吸収し、成長していく。しかし、大人になるにつれ、日々の忙しさを言い訳にして、探求心や好奇心が希薄になり、臆病にもなるし、新たな一步を踏み出せなくなる。

未知の世界への探究心を持つことや、好奇心を持つことは、やる気やモチベーションが上がると同時に、人としての成長にもつながる。成長し続ける私でありたい、という思いから“見聞を広める”ために国内外を旅することに決めた。

最初は世界遺産を中心に各地を回っていたのだが、ある時、一つの言葉に心を動かされ、旅への思いが大幅に変わった。その言葉というのが、リチャード・フランシス・バートンの「最も心躍る瞬間は未知の土地へ出発する時、だと私は思う」である。この言葉との出会いから、私の旅が“さまざまな経験のできる旅”へと変わった。海外の学会参加もその一つである。自

分の知らない世界に飛び込む瞬間は、とてもワクワクし、心が躍るような気持ちになり、感情が高ぶった。この感覚が心地よい。そして踏み込んだからこそ、必然的に得られる多くの知識や経験は自分自身の成長につながる。

そんな旅を繰り返していると、自分の持っている知識や経験なんて、ほんのちっぽけなものであり、世界中にはまだまだ知らないことがたくさんあることを思い知らされる。

成長を続けられる“さまざまな経験のできる旅”は、私に多くの素敵な“人”との出会いをもたらしてくれた。出会いが人を成長させてくれる——これは世界中どんな状況であっても言えることなのだと思う。

だからこそ、私は心躍る“さまざまな経験のできる旅”をこれからも続けていこうと思う。

さあ、一緒に未知の素敵な世界への旅に出掛けてみませんか？ (文責：中村 登紀子)

3月・4月の講習会などスケジュールのご案内



【e-ラーニング (ストリーミング方式)】

■ 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針
オンラインセミナー

配信を再開しました。

■ 告示研修 (基礎研修)

2021年7月31日(土) 午前0時から申し込み受け付け
※お申し込み成立の日から告示研修終了まで何度でも視聴いただけます。

※このご案内の公開時に、定員に達して申し込みができない講習会・セミナーがある場合がございますのでご了承ください。

日本医学会総会2023東京博覧会に出展します！



放射線医療のことを、国民の皆さまにもっと知っていただくため、日本診療放射線技師会は放射線医療関連団体と共に、2023年4月開催の「第31回日本医学会総会博覧会」に出展します。皆さまもご家族と一緒にご参加ください！

展示会 会期：2023年4月20日(木)～23日(日)

会場：東京国際フォーラム ホールE

<https://isoukai-expo.jp/>

出展団体：日本ラジオロジー協会 (JRC)、
日本医学放射線学会 (JRS)、日本放射線科専門医会・医会 (JCR)、
日本診療放射線技師会 (JART)、日本放射線技術学会 (JSRT)、
日本磁気共鳴学会 (JSMRM)、日本IVR学会 (JSIR)



事務所 案内

執務時間：月曜日から金曜日の午前9時30分より午後5時30分まで。

ただし、土曜、日曜、休日、祝日、創立記念日(7月13日)および年末年始(12月29日～1月3日)は執務致しません。